

CASE 3

ブレインリハビリでコミュニケーションが向上した例

78歳の脳血管障害を発症された女性に、ブレインリハビリテーションをお勧めしてみました。

日常生活動作はほぼ全介助、ベッド上で過ごされる事が多い方です。初めは興味を示さなかったものの簡単な計算などは発語もほとんど無い方でした。

リハビリ時にタブレットを使用しブレインリハビリを実施すると、されるようになりました。リハビリ時の会話も増え、ご自身より親戚にプロ野球選手がいる事を教えて頂ける位会話をされる様になりました。

平成 28 年 12 月